

# 4th International Symposium on Concrete and Structures for Next Generation 第4回次世代を担うコンクリート材料・構造国際シンポジウム (CSN2019)

日程：2019年6月17日(月)-18日(火)  
(19日(水)テクニカルツアー)

会場：金沢商工会議所(石川県金沢市尾山町)

主催：CSN2019組織委員会・学術委員会

後援：日本コンクリート工学会，土木学会，  
プレストレストコンクリート工学会



## 【シンポジウム開催にあたって】

次世代を担うコンクリート材料・構造国際シンポジウム(CSN)は、池田尚治 横浜国立大学名誉教授と大即信明 東京工業大学名誉教授が協同で企画し、2016年5月に東京で、第1回を開催しました。その後、第2回は2017年にフィリピン マニラで、第3回は2018年にタイ バンコクで開催されました。次回の2019年は、再び日本に戻り、PC橋が最初に建設された北陸石川県 金沢で開催します。

本シンポジウムは、論文の発表と討議やポスターの展示と説明を英語で行います。このため、若手の技術者や研究者がこの会議に参加することで、本格的な国際会議への参加経験を積んでいただくことができます。日本にいながら英語によるグローバルな国際会議を経験して、次世代を担うコンクリート技術者、研究者の今後の一層の発展に寄与することがこの会議開催の主目的です。日本人のみならず、留学生におかれましても、是非この企画にご賛同をいただき、コンクリート材料・構造に関係した多数の方が参加されることを期待します。

## 【論文の募集】

- 募集論文の分野：コンクリートの設計、施工、耐久性、補修、補強、維持管理、鉄筋コンクリート構造、PC構造、複合構造、環境材料、補修材料、耐震、耐震補強、防災、その他
- 募集論文数：70 論文程度
- アブストラクト：200 ワード程度
- 査読の有無：著者が査読の有無を選択できます。査読ありの論文は、査読なしの論文とは区別して、Proceedingに掲載されます。
- 論文の枚数：[査読あり]6～10 枚、[査読なし]4～10 ページ  
(書式はホームページへ掲載)

## 【主要日程】

- アブストラクト(査読あり論文、ポスター)申込期限：2019年4月5日  
(査読なし論文)申込期限：2019年4月22日 **延長しました**
- 論文提出期限：査読あり(第1稿)2019年4月5日(査読結果の通知)2019年5月8日 **遅れています**  
(最終稿)2019年5月22日 **延長しました**  
査読なし(アブストラクト審査結果の通知)2019年4月30日(最終稿)2019年5月15日
- ポスターのpdfデータの提出期限：2019年5月15日

## 【プログラム案】

6月17日(月) 開会式、招待講演(鳥居和之教授)、基調講演、一般講演、技術展示、バンケット[定員100人]  
6月18日(火) 基調講演・一般講演・技術展示、閉会式  
6月19日(水) テクニカルツアー(道路構造物と鉄道橋の現場見学)[定員35人]

## 【参加費】

学生 13,000 円， 一般 27,000 円， テクニカルツアー 5,000 円

◆請求書あるいは領収書が必要な方は、事務局(n-gene2019@mlist.kanazawa-it.ac.jp)へ御依頼して下さい。

## 【主催】

CSN2019 組織委員会：委員長 宮里心一 金沢工業大学 教授

CSN2019 学術委員会：委員長 岩波光保 東京工業大学 教授

[adviser]池田尚治(横浜国立大学 名誉教授)、大即信明(東京工業大学 名誉教授)、

鳥居和之(金沢大学 教授)、宇治公隆(首都大学東京 教授)、濱田秀則(九州大学 教授)、

中村光(名古屋大学 教授)、他数名